



Sasayama Elementary School

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成30年 2月28日発行

平成29年度 第11号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

成長を糧に新たな飛躍を

学校長 三瓶 徹

少しずつ寒さがやわらいで暖かいと感じる日も増え、桜の蕾も徐々にふくらみを見せてきているように思います。3月を迎え、いよいよ本年度をしめくくる時期となりました。

この時期にはよく竹にまつわる話題が出されます。それは、「竹には節があって、その節が竹を強くしなやかにしています。背の高い竹は、節があることによって、横からかなりの強風が当たっても耐えることができ、しなやかで、折れにくくなっているのです。人生も同様で、人間が強くしなやかに生きていくには、日々のつながりに訪れるさまざまな転機を自らがとらえ、それをどう乗り越えていくかが大切なのです。」と。竹は、太陽の光や土からの栄養分を受けて、いわば、外部からの働きかけがあって、節をつくりながら成長していきますが、私たち人間は、自分の成長が途中で折れないよう、自分で節づくりをしていく必要があります。学校生活でいうと、4月からの1年間をしなやかで強い竹のように成長していくためには、この時期に、節をより強固にしていくことが大切なのです。

この1年、子どもたちは大きく成長してきました。まもなく6年生は卒業し、他の学年は進級します。その意味で3月は新年度に向けての助走期間ともいえます。出発を意義あるものにするには、1年間の自分を見つめ直し、取り組んだ成果や課題を明確にする必要があります。運動会や校外学習などの行事、あるいは普段の学習や生活等、しっかり振り返ってください。その際、改善すべき課題を見つめる視点も重要ですが、自らのよさを伸ばそうとするプラス思考が最も大切です。ぜひ、がんばって達成したことや、成長した面に特に着目して、新たな飛躍の糧にしてほしいものです。

教育者の東井義雄氏のことばに、「ほんものはつづく、つづけるとほんものになる」とありますが、これは、「めざす力がついたのは続けたからで、続けていればめざす力がつきます」といったことを述べたものです。ぜひ、「何をめざして、いつ、どのくらい、どのように取り組む」といった継続的で具体的な目標をつくりあげてほしいと思います。

3月を大きな節目と考え、これからの夢や目標へ思いをはせつつ、来年度に備えてください。

3月16日(金)は、笹山小学校第44回卒業証書授与式です。今年は16名の6年生が、夢と希望をもって本校を巣立ちます。一人ひとりが自分の持ち味を生かし、光り輝く人生となる、よき門出となることを願っています。当日は、保護者のみなさまはもとより、地域のみなさまからも温かい励ましのお声かけをいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。